

平成27年11月30日

鹿児島市長 森 博幸 殿

鹿児島市事業評価監視委員会
委員長 平田 登基男



平成27年度鹿児島市事業評価監視委員会における審議結果について（報告）

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

付議された社会資本総合整備計画「鹿児島市における区画整理による安全・快適なまちづくり」、「鹿児島市都心部地区のさらなるにぎわいの創出」及び「鹿児島市における環境資源、景観資源としての公共交通を活かしたまちづくりの推進」の各事後評価原案について、詳細に審議を行った結果、いずれも妥当であるものと認める。

事業評価監視委員会で出された主な意見

社会資本総合整備計画「鹿児島市における区画整理による安全・快適なまちづくり」

- ・指標の設定について、安全安心に暮らせるという多面的に捉えた指標があっても良かった。
- ・アウトカム指標の「施行区域内道路の整備計画区間における走行時間損失の削減」について、最終目標値を下回っているが、数値を唐突に出すと分かりにくいので、算出方法に関する説明を注釈で加えるべきである。

社会資本総合整備計画「鹿児島市都心部地区のさらなるにぎわいの創出」

- ・指標の「いづろ・天文館地区の土日の歩行者通行量」について、目標値に達していないが、各面から様々な取組をし、方向性も間違っていないと考えるので、今後も引き続き取り組んでいただきたい。

社会資本総合整備計画「鹿児島市における環境資源、景観資源としての公共交通を活かしたまちづくりの推進」

- ・指標の「電車走行時の騒音レベルの低減」の達成状況について、当初現況値や最終目標値は高見馬場から加治屋町までの区間のデータを基に採用している。しかしながら、実際施行したのは中郡から郡元のところであり、実績値もその区間のデータである。総合所見について、文言整理すべきである。